

# エコチルひょうご通信



## 詳細調査が始まりました

既に本通信 7 月号でもお知らせしておりますとおり、エコチル調査の全体調査に加えて、今月より「詳細調査」（訪問による環境測定調査とお子さまの医学的検査・精神発達検査）が開始されました。兵庫ユニットでは約 260 名の方にご参加いただく予定にしております、対象の方には資料を送付し順次お電話で説明を開始しております。

### 詳細調査研修

9月9日・10日に東京と24日・25日に大阪で、それぞれ詳細調査についての研修が行われ、兵庫ユニットからはRC全員(9名)と事務3名が出席しました。

1日目は、同意取得手続きの進め方、電話での説明時や訪問時のマナーの講義を受けました。『電話の際は顔が見えなくても笑顔で口角を上げ、下を向かない。笑声(えごえ)を意識する。』『クッション言葉を使う』『訪問時インターホンでは笑顔で挨拶し、身だしなみを整える。上着を脱ぐタイミングに気を付ける。』などで、実際に腹式呼吸による発声練習、口角を上げる練習、隣の方とお辞儀の練習を仕合うなどの実習も行いました。マナーに関しては一般常識内のものでしたが、対象者の方に電話で説明する際に役立てています。



ダスト採取に使用するクリーナー

2日目は、訪問調査(環境測定調査)で使用する器材の説明を受け、その後参加者がグループに分かれて器材を実際に手に取り、使い方の確認を行いました。

お子さまの布団からのハウスダスト採取、屋内外に捕集管を設置してのガス状物質採取(揮発性有機化合物・アルデヒド類)、屋内外に吸引ポンプを設置し粒子状物質採取(PM2.5)、住居に関する聞き取り調査が訪問調査の内容となり、器材の取り扱い手順や保管方法、設置方法などの確認を行い、スムーズに調査が始められるよう参加者全員が真剣に取り組んでいました。



## 「エコチルママのための減災体験講座」を開催しました



10月11日(土)、尼崎市すこやかプラザにて「エコチルママのための初めての減災体験講座」を開催しました。7名の方にご参加いただき、講師には人と防災未来センターの平林英二さんにご協力いただきました。

### 【第1部 もし災害が発生したら!? 尼崎のハザードマップを見てみよう!】

「災害に対する減災とは何をすることなのか?」という問いかけから始まりました。尼崎の拡大地図を卓上に広げ、参加者の自宅・よく通う場所・避難所・川などにチェックを入れていきハザードマップを完成させていきました。自宅と河川の位置関係や指定避難場所の確認、避難場所に向かうまでに何通りも経路を考えておく必要があるという事でした。



### 【第2部 いざという時のための日頃の備え方、ママの目線で見てみよう】

非常用持ち出し袋についてそれぞれの認識についての確認をし、自身の状況に合った持ち出し袋を作っておくことの必要性を学びました。目安がおよそ女性で10kg、男性が15kgのリュックとの講師からの説明に皆、驚かれていました。非常持ち出し袋といえはかつての常識は、数日程度生きていける備えであったが、東北地震以降は7~10日分の用意が推進されているとの事でした。

参加者が少数だったのは残念ですが、「とても参考になった。」「予想以上に具体的な話で価値があった。」「ハザードマップ、大変参考になった。」というご意見をいただき、とても充実した時間を過ごしていただけたと思います。



## リクルートの進捗状況 (H26.10.15 時点)

母親	父親
	
累計(兵庫)	累計(兵庫)
5,189 人	1,896 人
累計(全国)	累計(全国)
103,106 人	51,587 人

子どもの登録数	
	
兵庫	全国
4,727 人	93,352 人

2014  
10.15

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0120-456-019

MAIL: [ecochild@hyo-med.ac.jp](mailto:ecochild@hyo-med.ac.jp) URL: <http://www.ecochil-hyogo.jp/>

